

文学館だより

令和元年 8月 1日
若山牧水記念文学館
TEL 0982-68-9511
文 貴 日 高

樹は妙に草うるはしき青の國日向は夏の番にかをるかな

山の緑が豊かで、海の青く広がる日向の国を「青の國」と表現。明治 39 年早稲田大学三年生の夏休みに帰省した時に詠んだ歌。日向市馬ヶ背に歌碑が建立されている。 歌集未収録

みんなで『しらとり』の歌を歌いました

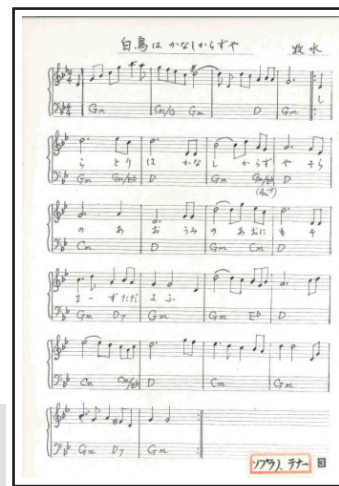
しらとり 白鳥をうたうミニコンサート

日 時： 7 月 21 日（日）
場 所： 若山牧水記念文学館
参加者： 児玉重信、幸子ご夫妻
児玉ピアノ教室の生徒さん
スイートピーコーラスのみなさん
坪谷地区のみなさん 他 26 名

文学館のグランドピアノが 7 年ぶりによみがえったことは 6 月号でお知らせしたとおりです。その広報パネルを目にした方から次のようなお便りをいただきました。

（略）「ピアノの音色 7 年ぶりによみがえる」ととても感動しました。届いてからしばらく藤山一郎さんの歌で「白鳥の歌」何度も聞いて私も歌いました。素晴らしいことでしたね。

今後、調律できたグランドピアノでミニコンサートができると良いと思いました。（略）



反響を伝えたい一心で、調律でお世話になった児玉ご夫妻にこのお便りをお見せしたところ、例に漏れず

「ミニコンサートをやろう！」

「この方を呼んで、一緒に白鳥の歌を歌おう！」

と、早々のお返事をいただきました。

ミニコンサートとはいえ、初の試み故、まずは発表の場のひとつにしていただければという思いで、地元のスイートピーコーラスのみなさんに声を掛けさせていただきました。当日は児玉幸子さん進行のもと、たくさんの白鳥の歌が響きました。



地元の方々からも

「楽しかった」

「生のピアノが聞けてよかった」

「中学生の頃、牧水祭で歌った歌でなつかしかった」との声が寄せられました。

開催が危ぶまれる悪天候ではありましたが、みなさんに喜んでいただき、楽しいひとときを過ごすことができました。もしかすると 7 年の眠りから覚めたピアノが一番嬉しかったのかもしれませんが。そしてこの歌声は、きっと牧水先生に届いていると信じます。

これを機に、第 2 回、第 3 回とつながっていくことを期待します。ご利用希望の方はどうぞご連絡ください。

児玉ご夫妻をはじめ、ご参加くださいましたすべての方々に感謝いたします。

第9回 牧水・短歌甲子園出場校決まる

日時：8月17日(土) 9:20～17:30 1次リーグ
18日(日) 9:00～12:00 準決勝・決勝・講評・表彰式

会場：日向市中央公民館 ※入場無料です

出場校：【岩手県】盛岡第三高校 (初出場)
【群馬県】高崎商科大学附属高校 (初出場)
【東京都】東京家政学院高校 (2回目出場)
立教池袋高校 (2回目出場)
【石川県】金沢錦丘高校 (3回目出場)
【福岡県】筑紫女学園高校 (初出場)
【宮崎県】日向高校 (7回目出場)
富島高校 (4回目出場)
五ヶ瀬中等教育学校 (初出場)
宮崎西高校 (7回目出場)
宮崎大宮高校 (6回目出場)
宮崎南高校 (初出場)

題詠：「令」「面」「恋」(1次リーグ)
「合」(準決勝)

※決勝は自由題です

全国31校54チームの中から本選出場を勝ち得た高校生のステージが繰り広げられます。本県からは6校出場。うち2校は初出場です。どんな展開が待っているのか楽しみです。自作短歌に込めた深い思い、熱い闘いをぜひ会場でご覧ください。

第8回(平成30年度)	全国29校53チーム応募
第7回(平成29年度)	全国28校51チーム応募
第6回(平成28年度)	全国24校39チーム応募

ご覧のとおり、年々、牧水・短歌甲子園熱が高まっています。現役高校生たちのひたむきに、毎年感動をもらっています。

そして、短歌甲子園のもう一つの見どころと言えば、OBOG会「みなと」の活躍でしょう。日向で短歌を語り合った彼らが、一年に一度また日向の地に戻ってくるのです。彼らの活動もお見逃しなく。文学館展示中の『みなと作品展』も当日、会場に展示しますので、こちらもぜひ、ご覧ください。



進行を務めるみなとの二人(左)

第9回 青の國若山牧水短歌大会作品募集 しめきり迫る

投稿はお済みでしょうか。

当顕彰会および日向市、日向市教育委員会主催『第9回 青の國若山牧水短歌大会』の締め切りが迫ってきました。ご家族のみなさんと、職場のみなさんと、お友だちと一緒に短歌を詠んでみませんか。たくさんのご応募お待ちしております。

【一般の部】 自由題

題詠 『歩』の漢字を必ず入れてください。
全国どなたでも、それぞれ一首ずつ応募できます。

【小・中・高校の部】 宮崎県内の児童生徒に限り、応募できます。
一人一首、題は自由です。

応募〆切 令和元年8月10日(土)

専用応募用紙、官製はがき、封書、メールにて受け付けています。

FAXは受け付けておりませんので、ご注意ください。

詳細は、若山牧水記念文学館ホームページをご覧ください。 <http://www.bokusui.jp>